

2023年3月23日

21世紀金融行動原則に係る最優良取組事例として「選定委員長賞」を受賞しました

京都信用金庫（本店：京都市下京区、理事長：榊田 隆之）はこの度、「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」（通称「21世紀金融行動原則」）に係る2022年度最優良取組事例「選定委員長賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。



（左：選定委員長（UNEP FI 特別顧問）末吉 竹二郎 様 右：京都信用金庫 専務理事 丹波 寛志）

今回の受賞は、「預金者と事業者の想いの共感の連鎖をつなぐ地域エコシステムの構築」として、「京信ソーシャル・グッド預金」「京信ソーシャル・グッド融資」ならびに「ソーシャル企業認証制度 S 認証」の取組を評価いただいたものです。

当金庫はこれからも、「人にやさしい、地球にやさしい」地域社会の実現を目指し、このような取組を通じて地域にソーシャルマインド（社会的な意識）を醸成するとともに、人や企業をつなぎ、地域に共感とコミュニティを創出することで、社会課題や環境問題の解決に寄与してまいります。

《選定理由》

- ・同金庫が掲げるコミュニティ・バンクの基本理念を元に、地域での資金循環による課題解決の方法として、一般消費者である預金者も参加できる金融サービスを提供している。
- ・同金庫が媒介となり、地域課題の解決に取り組む企業と預金者間で双方向の情報発信

を演出することで、地域を挙げたソーシャルマインドの醸成に取り組んでいる。

- ・近年、同金庫が取り組んでいる地域をトータルとして巻き込む諸活動は、これからの地域金融機関のあるべき姿の一つのモデルともいえる。

※[21世紀金融行動原則 web サイト](#)より引用

※リンク先の情報につきましては、ご利用者自身の責任の上でご利用ください。

《持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則》

持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針であり、303 機関が署名しています（2023 年 1 月 10 日時点）。



当金庫以外の受賞事例は[こちら](#)よりご覧いただけます。

※リンク先の情報につきましては、ご利用者自身の責任の上でご利用ください。

以 上